

# 第12回 定時社員総会資料

一般社団法人日本医療薬学会

日時：2020年4月26日（日） 10時～11時  
場所：日本薬学会長井記念ホール

## 第12回 定時社員総会 次第

1. 会頭挨拶

2. 成立確認

3. 議事録署名人の指名

4. 協議事項

第一号議案	2019年度事業報告(案)	1 ページ
第二号議案	2019年度決算報告(案)	25 ページ
第三号議案	2019年度監査報告	33 ページ
第四号議案	2020-2021年度 役員選任 (案)	35 ページ

協議事項 第一号議案

## 2019年度 事業報告(案)

自 2019年1月1日  
至 2019年12月31日

## 2019 年度事業報告(案)

2019 年、本学会は日本医療薬学会の前身である日本病院薬学会が設立されてから 29 年目を迎え、正会員が 12,500 人を超えた。公益社団法人への移行に備えて改正された代議員選出規程に基づく代議員選挙を行い、当選した 300 名が 3 月 20 日に開催された第 11 回定時社員総会の終結時から約 2 年間の任期をもって代議員に就任した。11 月 2 日から 4 日までの 3 日間にわたり、武田泰生（鹿児島大学病院 教授・薬剤部長）を年会長とする第 29 回年会を福岡国際会議場他で開催した。一般参加者 8,209 人及び招待者らを合わせて参加者数は 8,400 人を超え、活気に満ち溢れた年会となった。

各事業活動を 2019 年度の事業計画に基づき就任 2 年目を迎えた役員及び委員会体制下で活発に進めた。特に認定薬剤師制度を医療薬学専門薬剤師制度に変更すると共に、各認定制度間の認定要件等の立て付けの整合化を図った。また、地域医療において高い専門性を発揮できる薬剤師の養成を目的とした地域薬学ケア専門薬剤師制度を新設することとした。2019 年度は学術活動のみならず、医療薬学を通じて積極的に社会的要請に応えられる学会として、より一層飛躍した一年であった。

2019 年度事業報告の概要は以下のとおりである。

### 〔1〕事業の部

#### 1. 会員数（2019 年 12 月 31 日現在）

正会員：12,510 名、 学生会員：237 名、 賛助会員：15 社・団体  
名誉会員：26 名

#### 2. 認定薬剤師制度の認定数（2020 年 1 月 1 日現在）

認定薬剤師：1,675 名  
指導薬剤師：869 名  
研修施設：276 施設

#### 3. がん専門薬剤師制度の認定数（2020 年 1 月 1 日現在）

がん専門薬剤師：667 名  
がん指導薬剤師：235 名  
がん専門薬剤師研修施設：282 施設

#### 4. 薬物療法専門薬剤師制度の認定数（2020 年 1 月 1 日現在）

薬物療法専門薬剤師：41 名  
薬物療法指導薬剤師：34 名  
薬物療法専門薬剤師研修施設：205 施設

#### 5. 会議・委員会開催状況

社員総会 2 回（定時・臨時 各 1 回）、定例理事会 6 回、理事会事前打合せ 5 回、財務委員会 3 回（予算会議 1 回、会計点検 1 回、決算準備 1 回）、監事監査 1 回、国際交流委員会 1 回、会員委員会 1 回、広報委員会 2 回、出版委員会 1 回、医療薬学教育委員会 2 回、医療薬

学教育委員会・学術第四小委員会合同委員会 1 回、認定薬剤師認定制度委員会 5 回、認定薬剤師認定制度委員会・薬物療法専門薬剤師認定制度委員会合同委員会 1 回、がん専門薬剤師認定制度委員会 3 回、がん専門薬剤師研修小委員会 3 回、がん専門薬剤師試験小委員会 3 回、がん専門薬剤師能力向上小委員会 3 回、専門薬剤師育成委員会 6 回、専門薬剤師育成委員会コア会議 4 回、専門薬剤師制度運営委員会 1 回、認定制度見直しに係る打ち合わせ 2 回、専門薬剤師育成委員会・保険薬局 WG5 回、専門薬剤師育成委員会（地域薬学認定制度検討 WG）5 回、地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会 1 回、地域薬学ケア専門薬剤師スケジュール・連携運用に関する会議 5 回、専門薬剤師育成委員会・大学教員 WG2 回、専門薬剤師育成委員会・連携施設 WG5 回、専門薬剤師育成委員会（Web 申請・審査システム検討 WG）2 回、専門薬剤師育成委員会（規程案検討 WG）1 回、専門薬剤師制度支援システム検討 WG2 回、中小療養病床専門薬剤師制度検討 WG1 回、薬物療法専門薬剤師認定制度委員会 3 回、薬物療法専門薬剤師認定制度委員会・研修小委員会合同委員会 1 回、薬物療法専門薬剤師研修小委員会 2 回、薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験実行小委員会 6 回、薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験問題作成小委員会 1 回、功績賞選考委員会 1 回、学術貢献賞・奨励賞等選考委員会 1 回、論文賞選考委員会 1 回、新たな表彰制度検討 WG3 回、役員候補者選挙管理委員会 1 回、代議員選挙管理委員会 1 回、医療薬学学術小委員会 2 回、フレッシュャーズ・カンファレンス実行委員会 1 回、年会長候補者推薦委員会 1 回、海外研修派遣員選考委員会 1 回、年会あり方検討委員会 2 回、創立 30 周年記念事業委員会 2 回

## 6. 各委員会活動報告

### (1) 総務委員会

- 1) 公益社団法人化を念頭に代議員選出規程の見直しを図り、代議員選挙管理委員会及び代議員候補者推薦委員会を編成した。
- 2) 2020 年度事業計画の草案を検討した。
- 3) 本学会の公益社団法人の認可取得に関する議論に必要な準備を行った。
- 4) 事務局職員の雇用条件を見直し、新規の採用を行った。
- 5) 事務局職員の人事管理・労務等を調査した。

### (2) 財務委員会

- 1) 2018 年度決算報告書を取りまとめた。
- 2) 2020 年度予算案を作成した。
- 3) 事務局で保有している会計帳簿類を点検した。

### (3) 広報委員会

- 1) 学会ホームページの変更
  - ① トップページのレイアウトを改訂した。
  - ② 英文ホームページを作成し公開した。
- 2) 2020 年度広報用パンフレットの改訂

学生や若手薬剤師の新規入会促進への活用を目的とした学会紹介パンフレットの改訂版を作成し、全国の薬学部をはじめ関連機関へ配布した。

#### (4) 企画・シンポジウム委員会

##### 1) 医療薬学公開シンポジウムの開催

第 73 回から第 76 回までの 4 回の公開シンポジウムを開催した。

① 第 73 回 愛媛県、田中亮裕（愛媛大学医学部附属病院 准教授・薬剤部長）

開催日 8 月 31 日、会場 愛媛県薬剤師会館

テーマ 『情報共有ツールを活用した地域連携の実践』

② 第 74 回 奈良県、池田和之（奈良県立医科大学病院 副薬剤部長）

開催日 9 月 29 日、会場 奈良県文化会館

テーマ 『チーム医療を支える薬剤師 ～多職種連携における認定と薬剤師の役割～』

③ 第 75 回 青森県、新岡丈典（弘前大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

開催日 10 月 20 日、会場 青森県観光物産館アスパム

テーマ 『臨床研究に必要な知識と技術』

④ 第 76 回 大分県、伊東弘樹（大分大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

開催日 11 月 24 日、会場 J:COM ホルトホール大分

テーマ 『医療における理想的な地域連携の実践』

##### 2) 2020 年度の医療薬学公開シンポジウムの開催計画の検討

2020 年度（第 77 回から第 80 回までの 4 回）の公開シンポジウムの開催を企画した。また、公開シンポジウムのテーマを検討し、下記の各実行委員長に提示した。

岩手県 工藤賢三 岩手医科大学附属病院 教授・薬剤部長

群馬県 山本康次郎 群馬大学医学部附属病院 教授・薬剤部長

岐阜県 北市清幸 岐阜薬科大学 薬学部 教授

山口県 北原隆志 山口大学医学部附属病院 教授・薬剤部長

##### 3) 年會に係るシンポジウムへの演題と登録

本学会の各委員会が企画する第 29 回年會のシンポジウム等の演題登録に際して、当委員会が窓口となって各委員会への登録を募った。取り纏めた結果を理事会で協議し、第 29 回年會への組み入れを提言した。

#### (5) 会員委員会

1) 会費の遡及納入に係る嘆願書及び休会届を受け付け、対応を検討した。

2) 2020 年度分会費の納入依頼を、学会ホームページ、医療薬学第 45 巻 11 号及び同 12 号に掲載するとともに、会員宛にメールを配信して周知した。

3) 第 29 回年會の会場にクレジット払い用端末を設置し、会費納入の利便性を高めた。

#### (6) 医療薬学編集委員会

1) 「医療薬学」第 45 巻 1 号～12 号を編集・発行した。

① 2019 年 1 月から 12 月までに 139 編（うち非学会員から 16 編）の論文投稿を受け、同期間内に 83 編を採択した。（採択率：59.7%）

② 第 45 巻 1 号～12 号に 84 編の論文を掲載した。

内訳：総説 2 編、一般論文 31 編、ノート 51 編

（うち英文論文は 4 編）

2) その他の寄稿区分として、専門薬剤師リレーエッセイ 12 編を掲載した。

3) 投稿論文数の増加を目指して対策を検討した。

(7) JPHCS 編集委員会

1) 英文誌 Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (JPHCS)の第5巻(2019年)を編集・発行した。

① 2019年1月から12月までに61編の論文投稿を受付けた。

内訳：Research article 46編、Case report 3編、Review 2編、Short report 10編

② 第5巻(2019年)に27編の論文を掲載した。

内訳：Research article 19編、Case report 2編、Short Report 6編（採択率は58.7%）

2) 本誌の査読者の拡大策を講ずるとともに、2020年度より本誌の掲載論文を論文賞授賞の対象とすることを決定した。

(8) 認定薬剤師制度委員会

1) 認定薬剤師、研修施設の認定者及び施設数は次のとおり。

① 認定薬剤師の受験資格の審査、認定試験の概要及び認定者数

申請者数 135名、受験者数 132名、認定者数 110名（合格率 83.3%）

2019年7月28日（日）に認定試験を実施した。

② 指導薬剤師委嘱審査及び委嘱者数

申請者数 63名、委嘱者数 57名

（うち、認定薬剤師の認定と指導薬剤師の委嘱を同時に受けた者の数 12名）

③ 研修施設の認定施設数（2期に分けて申請受付）

申請施設数 24施設、認定施設数 24施設（1期 8施設、2期 16施設）

④ 認定薬剤師更新者数

申請者数 250名、更新者数 250名

⑤ 研修施設更新数

更新対象施設数 52施設、更新施設数 42施設

2) 認定薬剤師制度の見直しに係る議論の中で、医療薬学専門薬剤師制度の立て付けについて検討した。

3) 医療薬学専門薬剤師用の研修ガイドライン及び専門薬剤師認定試験用の出題基準等の整備を進めた。

4) 小委員会の活動

薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験問題小委員会及び認定試験実行小委員会において、2019年度薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師認定試験の問題の作成及び試験の実施に取り組んだ。

(9) がん専門薬剤師認定制度委員会

1) がん専門薬剤師、がん指導薬剤師、がん専門薬剤師研修施設の認定者及び施設数は次のとおり。

① がん専門薬剤師・新規認定 78名、更新認定 119名、更新保留 4名

② がん指導薬剤師・新規認定 21名、更新認定 127名、更新保留 7名

③ がん専門薬剤師研修施設・新規認定 17施設、更新認定 194施設

- 2) 教育啓発活動として、集中教育講座、アドバンスト研修会、全体会議、年会におけるシンポジウム、がん薬剤学会において症例サマリー書き方に関する講座を実施した。
- 3) がん専門薬剤師全体会議の実行委員会が、がん専門薬剤師能力向上委員会として活動することとなった。

#### 4) 小委員会の活動

##### ① がん専門薬剤師試験小委員会

がん専門薬剤師認定試験問題を作成し、2019年11月17日（日）に認定試験を実施した。受験者数87名中78名（89.7%）を合格とした。

##### ② がん専門薬剤師研修小委員会

・がん専門薬剤師集中教育講座（日本病院薬剤師会との共催により4回開催）

東京都 2019年3月9日、10日、 2019年7月6日、7日

京都市 2019年4月13日、14日、 福岡市 2019年11月30日、12月1日

・第7回がん専門薬剤師全体会議（東京都、2019年5月11日）

・第7回がん専門薬剤師アドバンスト研修会（名古屋市、2019年10月5日）

・他学会が実施する講習会・教育セミナーの受講単位を認定した。

・がん専門薬剤師養成研修ガイドライン及びコアカリキュラムの改訂作業を進めた。

##### ③ がん専門薬剤師能力向上小委員会

2020年のがん専門薬剤師全体会議の準備を行った。

##### ④ 抗がん薬プロフィール小委員会

直近の1年間に上市された新規抗がん剤を含む抗がん薬のリスク因子プロフィールの作成を終了した。本委員会で作成した資料を癌治療学会ガイドライン統括・連絡委員会の医薬品プロフィール領域担当委員に提出した。今後は、新たに上市された抗がん剤に関する情報を追加していく方針である。

- 5) がん専門薬剤師制度と他の認定制度の認定要件等の整合化を図った。

#### (10) 薬物療法専門薬剤師認定制度委員会

- 1) 薬物療法専門薬剤師、薬物療法指導薬剤師、薬物療法専門薬剤師研修施設の各認定者・施設数は次のとおり。

① 薬物療法専門薬剤師・新規認定6名（うち2名は認定薬剤師と同時認定）、更新認定0名、更新保留1名

② 薬物療法指導薬剤師・新規認定8名、更新認定6名

③ 薬物療法専門薬剤師研修施設・新規認定20施設、更新認定12施設

- 2) 認定申請者の増加対策として、第29回年会において薬学的介入を具体的に研修するためのワークショップ（WS）を開催した。本WSでは薬物療法専門薬剤師認定者をファシリテータとして迎え、薬物療法専門薬剤師としての活動を通じた認定取得の意義への参加者の理解を促進することとした。

#### 3) 小委員会の活動

薬物療法専門薬剤師研修小委員会が主体となって、次の活動を実施した。

##### ① 薬物療法専門薬剤師集中教育講座（2回開催）

岡山市 2019年6月8日、9日、 東京都 2019年10月13日、14日

② 他学会が実施する講習会・教育セミナーの受講単位を認定した。

4) 薬物療法専門薬剤師制度と他の認定制度の認定要件等の整合化を図った。

(11) 専門薬剤師育成委員会 (2019.9)、専門薬剤師制度運営委員会 (2019.10 より改組)

1) 本学会の認定薬剤師制度や専門薬剤師制度の抜本的な見直しを行った。

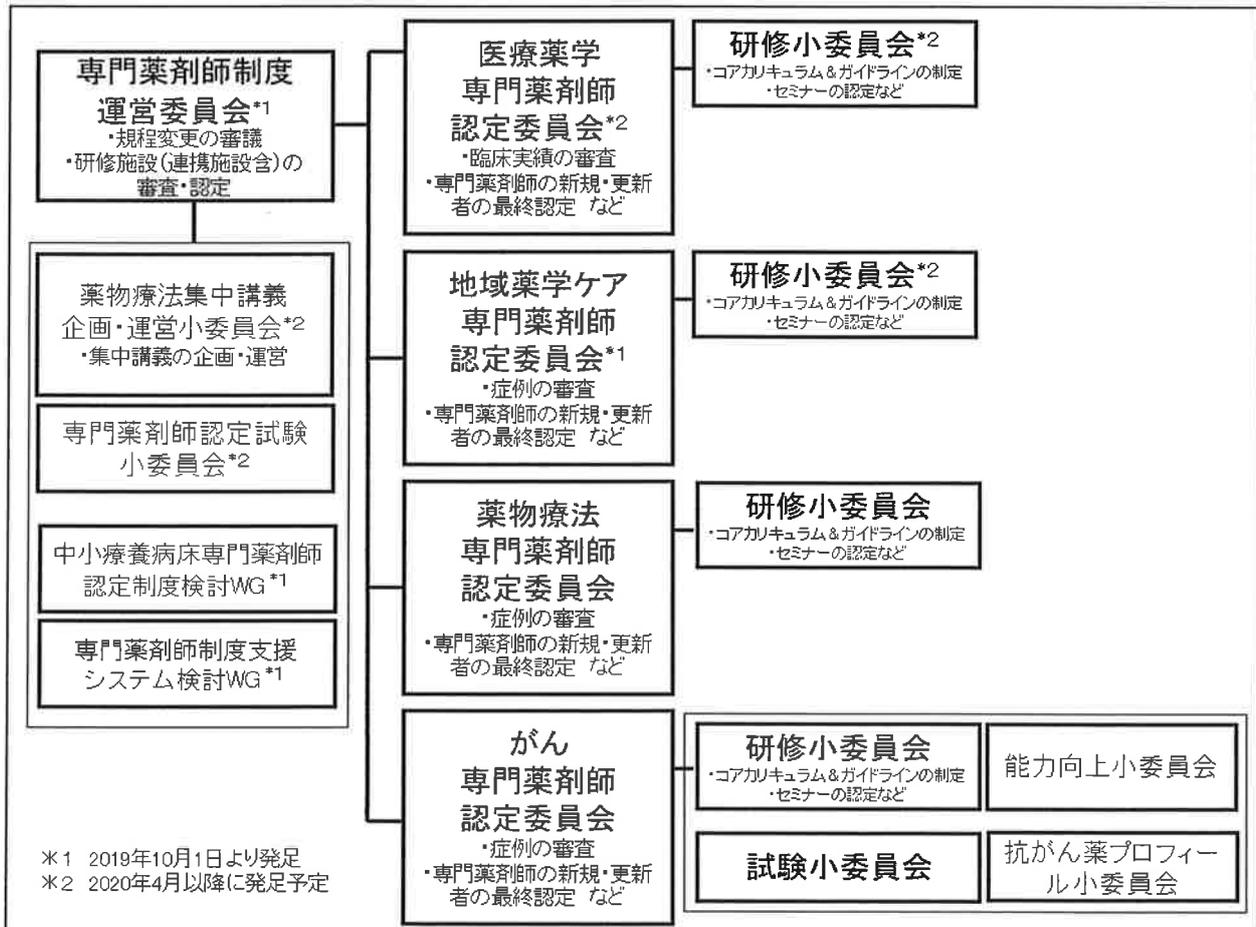
① 認定薬剤師制度の位置づけを見直し、2020年1月より医療薬学専門薬剤師制度として移行する。

② がん専門薬剤師及び薬物療法専門薬剤師制度の認定要件等の整合性を図った。

③ 新たに薬局薬剤師を対象にした「地域薬学ケア専門薬剤師制度」を設立した。

2) 新しい専門薬剤師制度の管理・運営を行うために、専門薬剤師育成委員会を専門薬剤師制度運営委員会に改組し、新たな管理・運営体制を構築した。(下図)

3) 第29回年会において、薬局WGの企画として、「薬局薬剤師の専門性について考える～ジェネラリストとスペシャリストの狭間で～」と題するシンポジウムを開催した。



(12) 功績賞選考委員会

2019年度の功績賞受賞候補者3名を選出した。

<功績賞>

- ・ 千堂年昭 (岡山大学病院 薬剤部)
- ・ 山田清文 (名古屋大学医学部附属病院 薬剤部)
- ・ 山田安彦 (東京薬科大学 薬学部)

(13) 学術貢献賞・奨励賞等選考委員会

- 1) Postdoctoral Award 選考規程を改正し、受賞者数の上限を10名まで増やした。
- 2) 2019年度の学術貢献賞1名、奨励賞3名及びPostdoctoral Award7名の各受賞候補者を選出した。

<学術貢献賞>

- ・ 橋田亨 (神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)  
研究題目 臨床上の課題解決に向けた薬学的介入とそのアウトカム評価に関する研究

<奨励賞>

- ・ 小原拓 (東北大学病院 薬剤部)  
研究題目 周産期の医薬品・サプリメント使用に関するエビデンス創出と臨床応用
- ・ 木村文司 (神戸大学医学部附属病院 薬剤部)  
研究題目 医薬品適正使用を目指した薬剤師介入の有用性の評価に関する研究
- ・ 平大樹 (立命館大学 薬学部)  
研究題目 個別化吸入療法を指向した吸入指導ツールの開発と臨床的有用性評価

<Postdoctoral Award>

- ・ 今井俊吾 (北海道大学病院 薬剤部)  
学位論文題目 データマイニング手法を用いた医薬品副作用発現リスクの定量的評価モデルの開発
- ・ 加藤秀雄 (愛知医科大学 感染症科)  
学位論文題目 Considerations about the use of a loading dose of daptomycin in a neutropenic murine thigh infection model with methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* infection
- ・ 柴田ゆうか (広島大学病院 薬剤部)  
学位論文題目 チオペンタールとプロポフォール の血管外漏出の病理学的評価に基づく傷害リスクの解明と罨法の効果に関する基礎的研究
- ・ 新谷拓也 (大阪大学医学部附属病院 薬剤部)  
学位論文題目 新規 EGFR-TKI 耐性獲得因子 eIF3c の分子病理学的意義の解明とバイオマーカーとしての有用性の検討
- ・ 鳥居綾 (金城学院大学 薬学部)  
学位論文題目 抗精神病薬による血液毒性の発現機序に関する研究
- ・ 細谷龍一郎 (武蔵野赤十字病院 薬剤部)  
学位論文題目 臨床情報を用いた吃逆のリスク因子とその治療に関する研究
- ・ 山本将大 (国立国際医療研究センター研究所)  
学位論文題目 抗がん薬オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対する新規予防薬の探索

(14) 論文賞選考委員会

2019年度の論文賞候補論文を3編選出した。

<論文賞>

- ・ 論文題目 院内製剤ダントロレンナトリウム希釈散の調製方法に関する検討  
—脱カプセルとカプセル粉砕の比較—  
著者 齊藤順平, 歌野智之, 倉富未来, 廣川太士朗, 小村誠, 赤羽三貴,  
牧山稔, 石川洋一  
(医療薬学 第44巻1号, 1-7)
- ・ 論文題目 テルミサルタン錠との一包化によりアスピリン腸溶錠は成分量および  
溶出率が低下する配合変化を起こす  
著者 岩山訓典, 久保靖憲, 小野尚志, 笠茂紗千子, 飯田慎也, 大滝康一,  
山田峻史, 安達知輝, 福土将秀, 栗屋敏雄, 田崎嘉一  
(医療薬学 第44巻7号, 333-340)
- ・ 論文題目 重複投薬・相互作用等防止加算関連業務の分析と経済効果  
—Pharmaceutical Intervention Record (薬学的介入報告) の分析—  
著者 味澤香苗, 鈴木学, 林由依, 甲斐絢子, 小林篤史, 小原道子, 生木庸寛,  
國府田真綾, 金地夏実, 林秀樹, 棚瀬友啓, 土屋照雄, 杉山正  
(医療薬学第44巻12号, 599-606)

(15) 新たな表彰制度に係る検討WG

表彰制度の見直しを図り振興賞を設けた。また学術貢献賞に代えて日本医療薬学会賞及び学術賞とした。新たに3つの表彰制度を設けた。各賞は2020年度より運用することとした。

(16) 医療薬学教育委員会

1) 第3回医療薬学教育セミナーを開催した。

- ・ テーマ 『臨床研究成果を論文にするために』
- ・ 日程 2019年4月21日(日) 10時~16時
- ・ 会場 東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場
- ・ 参加者 209名(一般191名、学生18名)

2) 第29回年会でのシンポジウムを開催した。

- ・ テーマ 『医療薬学研究に取り組むための基礎と実践』
- ・ 日程 2019年11月3日(日) 13時25分~15時25分
- ・ 会場 マリンメッセ福岡

3) 今後のセミナーの開催計画を検討した。

第4回医療薬学教育セミナー

- ・ テーマ 『臨床研究成果を論文にするために』  
—薬物相互作用の事例を科学的に洞察して質の高い研究につなげよう—
- ・ 日程 2020年4月19日(日) 10時~16時
- ・ 会場 一橋大学一橋講堂

(17) 国際交流委員会

1) 国際シンポジウムの開催

第 29 回日本医療薬学会年会（福岡）において、国際シンポジウムを開催した。

- ・ テーマ 『The roles of pharmacists in the quality, efficacy, and safety of pharmaceuticals』
- ・ 日 程 2019 年 11 月 2 日（土） 13 時 25 分～17 時 35 分
- ・ 概 要 第 1 部 中国、韓国、シンガポール及び日本からの 4 名が講師  
第 2 部 日本人 5 名による英語でのセッション  
合わせて 9 演題の発表があった。

2) 新たな海外研修制度の検討及び研修候補者の選考

- ① 新たな海外研修のあり方について、対象者を専門薬剤師の有資格者から本学会の会員に広げ、海外施設での研修や見学、海外で開催される学会等での発表への助成金の交付を検討した。
- ② 2019 年度海外研修の募集に対し 3 件の応募があり、規程に従い選考した結果、全 3 件を選考した。

(18) 医療薬学学術委員会

1) 小委員会の活動

① 医療薬学学術第一小委員会（伊藤清美委員長）の活動報告

2019 年 11 月に「医療現場における薬物相互作用へのかかわり方ガイド」を本学会ホームページ上で公表した。

② 第二小委員会（寺田智祐委員長）の活動報告

「薬学的視点に基づいたプレジジョン・メディシンの国内基盤構築のための研究調査」の 2 年目として、次の活動を行った。

- ・ 2018 年に実施した本研究に係る調査結果を基に医療薬学誌へ論文を投稿した。同誌の第 46 巻 2 号に「薬学的視点に基づいたプレジジョン・メディシンの国内基盤構築のための調査研究」と題する一般論文の掲載が決定した。
- ・ PGx 検査に基づく個別化医療の社会実装のためにどのような対策が必要かを検討するためのアンケートを 2020 年 1 月末日まで実施する。今後、本アンケートの解析・評価を行い、論文投稿を行う予定である。

③ 第三小委員会（宮崎雅之委員長）の活動報告

- ・ 愛知県内における活動として、がん領域に従事し、臨床研究の経験が浅い薬剤師、臨床研究を行いたいを実施できる支援体制が整っていない施設に所属する薬剤師が臨床研究を実践するために必要な支援を行う体制を検討した。
- ・ 研究課題毎にグループを構成し、月に 1 回例会を開催し討議をした。メーリングリストを活用して継続的な討議及び情報共有を行った。また立案した研究課題を解決すべく、調査研究を実施する。得られたデータを集積し、学会発表及び論文投稿の準備を進めている。

④ 第四小委員会（米澤淳委員長）の活動報告

- ・ 2019 年 4 月 21 日に千葉大学医学部附属病院薬剤師及び千葉大学薬学部との共催により、千葉大学薬剤師卒後教育研修講座（第 115 回）、テーマ「薬物相互作用を考える」を開催した。

- ・ 2020年2月1日に日本医薬品情報学会との共催により、令和元年度第3回 JASDI フォーラム、テーマ「臨床における薬物相互作用評価」を開催する。

⑤ 第五小委員会（石塚雅子委員長）の活動報告

- ・ 症例報告書をデータベース化するためのシステム構築に係る情報収集を進め、目的とするシステム構成や費用を算出した。

2) 医療薬学学術小委員会の新規募集

2020年4月より発足する医療薬学学術小委員会の研究テーマの公募手続きを進めた。

(19) 出版委員会

- 1) 「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」(南江堂)シリーズの改訂版の普及促進のため、学会ホームページへの掲載、学会誌への広告、他団体への広告掲載の協力を依頼した。
- 2) 「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」(南江堂)シリーズの次期改訂を検討した。
- 3) 過去の出版図書のホームページへの掲載を整理した。

(20) フレッシュヤーズ・カンファランス委員会

1) 第3回フレッシュヤーズ・カンファランスを開催した。

- ・ 実行委員長 渡辺茂和（帝京大学薬学部 教授）
- ・ 日 程 2019年6月16日（日） 12時40分～17時
- ・ 会 場 帝京大学板橋キャンパス

2) 第4回フレッシュヤーズ・カンファランスの開催計画を検討した。

- ・ 実行委員長 中村敏明（大阪薬科大学薬学部 教授）
- ・ 日 程 2020年6月14日（日） 12時40分～17時
- ・ 会 場 大阪薬科大学 D棟

(21) 年会長候補者推薦委員会

第34回日本医療薬学会年会(2024年開催)の年会長候補者として、本間真人（筑波大学病院 教授・薬剤部長）を選出した。

(22) 選挙制度委員会

公益社団法人への移行を念頭にした代議員選出規程により、立候補者及び代議員候補者推薦委員会による推薦候補者（定数の10%）を合わせた被選挙人名簿を作成し、代議員選挙を経て300名の代議員を選出した。

(23) 公益社団法人化検討特別委員会

2019年度決算を基に財務シミュレーションを実施し、公益社団法人の認可取得にあたっての検討課題等が確認され、今後も継続的に検討することとなった。

(24) 年会あり方検討委員会

年会の実施にあたり、年会長が取り組みやすい体制作りや公益社団法人への移行を見据え

た学会としての組織体制及び諸規程類の整備等の検討を進め、年会用の旅費規程及び謝金規程の両案を作成した。

(25) 創立 30 周年記念事業委員会

創立 30 周年記念シンポジウム・祝賀会の開催計画を検討した。

テーマ 『日本医療薬学会の軌跡と未来』

- ・ 日 程 2020 年 9 月 19 日 (土)  
記念シンポジウム 14 時～17 時  
祝賀会 18 時～20 時
- ・ 会 場 名古屋マリオットアソシアホテル

(26) 人事委員会

2019 年 10 月に事務局の契約職員 1 名を採用した。

7. 年会 (第 29 回日本医療薬学会年会)

テーマ 『新しい時代を担う 医療薬学のこれから ～薬学の英知の結集～』

年会長 武田泰生 (鹿児島大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長)

開催日 2019 年 11 月 2 日 (土) ～4 日 (月・祝)

会 場 福岡国際会議場、他

1) 事業内容

年会長講演	1 題
会頭講演	1 題
特別講演	7 題
専門薬剤師育成委員会からのお知らせ	1 セッション
シンポジウム (公募)	66 セッション
ワークショップ	2 セッション
市民公開講座	1 セッション
International Symposium (国際シンポジウム)	2 セッション
International Session	29 題
i) 口頭	6 題
ii) ポスター	23 題
学術貢献賞・奨励賞・Postdoctoral Award 受賞講演	
メディカルセミナー	44 セッション

◆ 一般参加者数 8,209 名

◆ 懇親会 422 名 (招待者除く)

8. 医療薬学公開シンポジウム

(1) 第 73 回医療薬学公開シンポジウム

テーマ 『情報共有ツールを活用した地域連携の実践』

開催日 2019 年 8 月 31 日 (土)

会 場 愛媛県薬剤師会館 3階 大会議室

シンポジウム

座長：社会福祉法人恩賜財団済生会西条病院 薬局長 浅川隆重

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 助教・副薬剤部長 飛鷹範明

「医薬分業未実施施設でのお薬手帳等を活用した薬薬連携」

済生会西条病院 今井崇景

「薬薬連携と診察前面談による乳癌内分泌療法の安全性マネジメント」

松山赤十字病院 宮崎実千芸

「内服抗がん薬の連携について～薬局の立場から～」

コスモ薬局日赤店 坂川興規

「外来患者における保険薬局との双方向の連携～施設間薬剤情報連絡書を利用した  
情報共有について～」

愛媛大学医学部附属病院 越智理香

「吸入指導に関する愛媛大学との連携（薬局の立場から）」

エビスヤ薬局志津川店 渡部覚氏

特別講演

座長：愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 准教授・薬剤部長 田中亮裕

「臨床検査値が繋ぐ地域包括ケア」

千葉大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部 石井伊都子

◆参加人数 83名

## (2) 第74回医療薬学公開シンポジウム

テーマ 『チーム医療を支える薬剤師 ～多職種連携における認定と薬剤師の役割～』

開催日 2019年9月29日（日）

会 場 奈良県立文化会館 小ホール

特別講演

座長：奈良県立医科大学附属病院 薬剤部長 辻力夫

「チーム医療と病院の国際化」

NTT 東日本関東病院 薬剤部 Senior pharmacist

河北総合病院 薬剤部長 折井孝男

シンポジウム

座長：奈良県西和医療センター 薬剤部 次長 樋野光生

「薬剤師の専門教育におけるNST 専門療法士認定制度」

神戸市立医療センター中央市民病院 室井延之

「日本糖尿病療養指導士として患者に寄り添う薬剤師の役割」

奈良県総合医療センター 生島繁樹

「医療を支える情報システム～医療情報技師の役割～」

奈良県立医科大学附属病院 池田和之

◆参加人数 122名

(3) 第 75 回医療薬学公開シンポジウム

テーマ 『適正な臨床研究推進のために必要な知識と技術』

開催日 2019 年 10 月 20 日 (日)

会場 青森県観光物産館アスパム 5 階あすなろ

司会 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長補佐 福士涼子

特別講演

座長：八戸市立市民病院 薬局長 田村健悦

「臨床研究における統計解析の重要性」

弘前大学医学部附属病院 松坂方士

シンポジウム「その研究、倫理委員会での審査が必要です！」

座長：青森大学薬学部 薬物代謝動態学講座 教授 清水美貴子

オープニング「なぜ倫理審査が必要なのか」

弘前大学医学部附属病院 新岡文典

「個人情報保護および利益相反について」

富山大学附属病院 寺元剛

「臨床研究に必要な申請書類の書き方について」

弘前大学医学部附属病院臨床試験管理センター 工藤正純

「倫理委員会事務局から見る審査のポイント」

弘前大学大学院医学研究科 栗林航

「薬剤師会地域倫理委員会の果たす役割」

ひがし調剤薬局 柴崎崇

◆参加人数 56 名

(4) 第 76 回医療薬学公開シンポジウム

テーマ 『医療における理想的な地域連携の実践』

開催日 2019 年 11 月 24 日 (日)

会場 J:COM ホルトホール大分 大会議室

基調講演 1

座長：社会医療法人 敬和会 大分岡病院 薬剤部長 井上真

「ポリファーマシー対策と地域連携」

東京大学大学院医学系研究科加齢医学・東京大学医学部附属病院 秋下雅弘

ランチョンセミナー (第一三共株式会社)

座長：大分大学医学部附属病院 薬剤部 主任 田中遼大

「treatable dementia を見逃さない！ ～高齢者てんかんの鑑別～」

大分大学医学部神経内科学講座 木村成志

シンポジウム

座長：津久見市医師会立津久見中央病院 薬剤部 中尾正志

大分大学医学部附属病院 薬剤部 主任 津下遥香

CKD と地域連携

「CKD シールを活用したインタラクティブな情報共有」

熊本赤十字病院 下石和樹

## 糖尿病と地域連携

「大分県臼杵市における地域ぐるみの糖尿病重症化予防の取り組み」

臼杵市医師会立コスモス病院 近藤誠哉

## がんと地域連携

「大学病院薬剤師が目指すべきがん治療の地域医療連携」

大分大学医学部附属病院 龍田涼佑

## 基調講演 2

座長：社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター 薬剤部長 山田雅也

「薬薬連携～明日から取り組める地域連携の実践～」

ファルメディコ株式会社 狭間研至

## スイーツセミナー（田辺三菱製薬株式会社）

座長：大分大学医学部附属病院 副院長・教授・薬剤部長 伊東弘樹

「関節リウマチの病態と治療 Update」

九州大学病院別府病院 堀内孝彦

◆参加人数 122名

## 9. 第3回医療薬学教育セミナー

開催日 2019年4月21日（日）

会場 東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場

基調講演1 「薬剤師が行う臨床試験計画立案と統計」

京都薬科大学 床薬学教育研究センター 矢野義孝

特別講演 「情けに報いた、医療リアルワールドデータと健康ライフコースデータの  
基盤整備の展望」

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 川上浩司

基調講演2 「科学論文の書き方」

鹿児島大学病院 薬剤部、医療薬学編集委員長 武田泰生

## シンポジウム

座長：医療薬学教育委員会委員 吉山友二、西村信弘

「私でもできる論文作成、これまでの経験からのポイント」

大垣市民病院 木村美智男

「中小病院の薬剤師でも海外誌に論文発表できるの？」

JCHO 星ヶ丘医療センター 北澤文章

「医療薬学を主眼とする臨床研究の実践」

宮崎大学医学部附属病院 吉川直樹

◆参加者人数 209名

## 10. 第3回フレッシュャーズ・カンファランス

開催日 2019年6月16日（日）12時40分～17時

会場 帝京大学板橋キャンパス

演題数 口頭発表29題、ポスター発表50題

教育講演 「フレッシュャーズのための医療薬学研究事始め」

帝京大学薬学部 臨床薬学講座 地域医療薬学 教授 安原真人

◆参加者人数 208名 (一般118名、学生90名)

## 11. がん専門薬剤師集中教育講座

### (1) 東京

開催日 2019年3月9日、10日

会場 一橋大学 一橋講堂

第1日 2019年3月9日(土)

「がんの発生、転移、薬剤耐性」 がん研究会 がん化学療法センター所長 藤田直也  
「抗がん薬の臨床薬理」 滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部教授・薬剤部長 寺田智祐  
「安全な化学療法の実践」 埼玉県立小児医療センター 薬剤部副技師長 中山季昭  
「放射線腫瘍学」 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科医長 中山優子  
「乳がんの薬物療法」 がん研究会 有明病院 副院長・乳腺センター長 大野真司  
「大腸がんの薬物療法」 埼玉医科大学国際医療センター 消化器腫瘍科教授 濱口哲弥  
「緩和医療とがん疼痛治療」 株式会社メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部  
地域薬局事業部 医療連携セクション 副部長 久原幸  
「がん薬物療法の臨床試験」 国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門  
研究企画推進室安全管理室長 米村雅人

第2日 2019年3月10日(日)

「支持療法」 日本医科大学付属病院 薬剤部副薬剤部長 伊勢雄也  
「小児がんの薬物療法」 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学講師 平松英文  
「白血病、造血幹細胞移植」 北海道大学大学院医学研究院 内科系部門内科学分野  
血液内科学教室 教授 豊嶋崇徳  
「悪性リンパ腫の薬物療法」 静岡県立静岡がんセンター 血液・幹細胞移植科部長 池田宇次  
「皮膚がんの薬物療法」 国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科長 山崎直也  
「肺がんの薬物療法」 関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科診療教授 倉田宝保  
「胃がんの薬物療法」 愛知県がんセンター中央病院 副院長・薬物療法部長  
外来化学療法センター長 室圭

◆参加人数 466名

### (2) 京都

開催日 2019年4月13日、14日

会場 京都大学百周年記念ホール

第1日 2019年4月13日(土)

「大腸がんの薬物療法」 大阪大学大学院 先進癌薬物療法開発学寄付講座 教授 佐藤太郎  
「胃がんの薬物療法」 滋賀医科大学 内科学講座消化器内科助教 園田文乃  
「支持療法」 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部主任 飯原大稔  
「悪性リンパ腫の薬物療法」 金沢大学附属病院 輸血部病院臨床教授 山崎宏人  
「乳がんの薬物療法」 国際医療福祉大学病院 腫瘍内科教授 石黒洋  
「婦人科領域がんの薬物療法」 滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座特任講師 住本秀敏  
「がん薬物療法の臨床試験」 国立病院機構北海道がんセンター 薬剤部主任 玉木慎也

「抗がん剤の臨床薬理」 京都薬科大学 薬物動態学分野教授 栄田敏之  
 第2日 2019年4月14日(日)  
 「泌尿器科がんの薬物療法」 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学講師 山崎俊成  
 「がんの発生、転移、薬剤耐性」 京都大学大学院医学研究科  
 臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座特定准教授 金井雅史  
 「緩和医療とがん疼痛治療」 埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部係長 佐野元彦  
 「肝臓、胆道、膵臓がんの薬物療法」 滋賀医科大学 外科学講座教授 谷眞至  
 「白血病、造血幹細胞移植」 滋賀医科大学 血液内科准教授 木藤克之  
 「肺がんの薬物療法」 京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学教授 金永学  
 「安全ながん薬物療法の実践」 神戸市立医療センター中央市民病院  
 薬剤部副部長代行 池末裕明

◆参加人数 456名

### (3) 東京

開催日 2019年7月6日、7日

会場 笹川記念会館 国際会議場

第1日 2019年7月6日(土)

「がんの発生、転移、薬剤耐性」 近畿大学医学部 ゲノム生物学教室教授 西尾和人  
 「悪性リンパ腫の薬物療法」 金沢大学附属病院 輸血部准教授 病院臨床教授 山崎宏人  
 「抗がん薬の臨床薬理」 昭和大学 先端がん治療研究所准教授 今村知世  
 「安全ながん薬物療法の実践」 日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部  
 臨床研究課主幹 野村久祥  
 「支持療法」 日本医科大学付属病院 薬剤部部長 伊勢雄也  
 「小児がんの薬物療法」 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
 小児がんセンター 血液腫瘍科診療部長 富澤大輔  
 「頭頸部がんの薬物療法」 国立がん研究センター東病院 頭頸部内科医員 岡野晋  
 「がん薬物療法の実践」 国立がん研究センター中央病院  
 副薬剤部長/革新的がん研究支援室室長 牧野好倫

第2日 2019年7月7日(日)

「婦人科領域がんの薬物療法」 がん研有明病院 婦人科医長 温泉川真由  
 「大腸がんの薬物療法」  
 埼玉医科大学国際医療センター 消化器腫瘍科 診療部長・教授 濱口哲弥  
 「胃がんの薬物療法」 がん研有明病院 消化器化学療法科 医長 高張大亮  
 「緩和医療とがん疼痛治療」 日本医科大学多摩永山病院 薬剤部 部長 高瀬久光  
 「肺がんの薬物療法」 新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長 三浦理  
 「泌尿器がんの薬物療法」 国立がん研究センター中央病院  
 泌尿器・後腹膜腫瘍科病棟医長 松井喜之  
 「乳がんの薬物療法」 がん研有明病院 乳腺センター 院長補佐・乳腺センター長 大野真司

◆参加人数 655名

### (4) 福岡

開催日 2019年11月30日、12月1日

会場 九州大学医学部百年講堂大ホール

第1日 2019年11月30日(土)

「がんの発生、転移、薬剤耐性」

公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター所長 藤田直也

「胃がんの薬物療法」

大阪国際がんセンター 腫瘍内科副部長 杉本直俊

「泌尿器がんの薬物療法」

大阪国際がんセンター 泌尿器科副部長 垣本健一

「乳がんの薬物療法」

国立病院機構九州がんセンター 乳腺科部長 徳永えり子

「大腸がんの薬物療法」

福岡県済生会福岡総合病院 がん治療センター長兼外科部長 江見泰徳

「白血病・造血幹細胞移植」

広島大学 原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野准教授 福島伯泰

「婦人科領域がんの薬物療法」

国立病院機構九州がんセンター 婦人科医長 園田顕三

「肝・胆・膵がんの薬物療法」

国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科科長 高見裕子

第2日 2019年12月1日(日)

「支持療法」

大阪薬科大学 臨床薬学教育研究センター講師 内田まやこ

「悪性リンパ腫の薬物療法」

大分大学医学部附属病院 血液内科講師 緒方正男

「肺がんの薬物療法」

新潟県立がんセンター新潟病院 内科 副院長 田中洋史

「安全ながん薬物療法の実践」

埼玉県立小児医療センター 薬剤部副技師長 中山季昭

「抗がん薬の臨床薬理」

慶應義塾大学 医学部 臨床薬剤学教室教授 谷川原祐介

「がん薬物療法の臨床試験」

国立病院機構東広島医療センター 副薬剤部長 小暮友毅

「緩和医療とがん疼痛治療」

長崎大学病院 薬剤部 麻薬管理室・注射薬室長 龍恵美

◆参加人数 344名

## 12. がん専門薬剤師全体会議

### 第7回 がん専門薬剤師全体会議

開催日 2019年5月11日(土)

会場 ヤクルトホール

#### セッション1

「いつまで?どこまで?どうやって? irAE マネジメント」

座長:三宅知宏(伊勢赤十字病院)、池末裕明(神戸市立医療センター中央市民病院)

演者:高木麻里(大阪国際がんセンター)、上原友美(鹿児島厚生連病院)、

池末裕明(神戸市立医療センター中央市民病院)

#### ランチョンセミナー(中外製薬株式会社 共催)

座長:河原昌美(金沢市立病院)

「ベストプラクティスとしてのがんゲノム医療」

演者:土原一哉(国立がん研究センター先端医療開発センター)

トランスレーショナルインフォマティクス分野 分野長)

#### セッション2

「がん専門薬剤師による秘密のケンミンSHOW

～がん医療の質向上を目指した地域コミュニティの在り方を考える～」

座長：佐野元彦（埼玉医科大学総合医療センター）、松田圭一郎（山形市立病院済生館）  
演者：奈良県幹事：渡邊裕之（奈良県立医科大学附属病院）  
東京都幹事：輪湖哲也（日本医科大学付属病院）  
埼玉県幹事：佐野元彦（埼玉医科大学総合医療センター）  
パネリスト：石川県幹事：菅幸生（金沢大学医薬保健研究域薬学系/金沢大学附属病院）  
奈良県幹事：渡邊裕之（奈良県立医科大学附属病院）  
東京都幹事：輪湖哲也（日本医科大学付属病院）  
愛知県幹事：宮崎雅之（名古屋大学医学部附属病院/大学院医学系研究科）  
岩手県幹事：和賀信継（岩手県立磐井病院）  
埼玉県幹事：佐野元彦（埼玉医科大学総合医療センター）

### セッション3

「どうなる薬剤費？どうする薬剤師！」

座長：村上通康（松山赤十字病院）、有馬純子（鹿児島大学病院）

演者：橋本浩季（松山赤十字病院）、小野尚志（旭川医科大学病院）

ディスカッサント：中山季昭（埼玉県立小児医療センター）

イブニングセミナー（大鵬薬品工業株式会社 共催）

座長：谷川原祐介（慶應義塾大学医学部）

「臨床統計の基礎固めとリアルワールドデータへの展開」

演者：森田智視（京都大学院医学研究科 医学統計生物情報学 教授）

◆参加者人数 357名

## 13. がん専門薬剤師アドバンスト研修会

第7回 がん専門薬剤師アドバンスト研修会

開催日 2019年10月5日（土）

会場 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階 1201会議室

症例検討1「肺がん」

司会：佐伯康之（がん専門薬剤師研修小委員会 委員）

講師：遠渡純輝（岐阜大学医学部附属病院 呼吸器内科 特任助教）

：飯原大稔（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

ランチョンセミナー

「腎細胞がんにおける免疫療法の副作用マネジメント」

座長：三宅知宏（がん専門薬剤師研修小委員会 委員）

演者：芝原拓児（伊勢赤十字病院 泌尿器科 副部長）

共催：ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社、小野薬品工業株式会社

症例検討2「乳がん」

司会：鈴木亘（がん専門薬剤師研修小委員会 委員）

講師：齋藤佳菜子（三重大学医学部附属病院 腫瘍内科助教）

講師：山田真帆（三重大学医学部附属病院 薬剤部）

講評：中多陽子（がん専門薬剤師研修小委員会 委員長）

◆参加者人数 38名

#### 14. 薬物療法専門薬剤師集中講義

##### (1) 大阪

開催日 2019年6月8日、9日

会場 おかやま未来ホール

第1日 2019年6月8日(土)

「糖尿病」 岡山大学病院 新医療研究開発センター 教授 四方賢一

「間質性肺炎」 九州大学病院 呼吸器科助教 濱田直樹

「アレルギー」 川崎医科大学 耳鼻咽喉科講師 兵行義

「潰瘍性大腸炎」 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 消化器内科

内視鏡センター長 松枝和宏

「心不全」 川崎医科大学附属病院 循環器内科講師 久米輝善

「感染症」 山口大学大学院医学系研究科 臨床薬理学教授 北原隆志

第2日 2019年6月9日(日)

「CKD」 医療法人八田内科医院 院長 八田告

「うつ病+せん妄」 岡山大学病院 精神科神経科助教 井上真一郎

「排尿障害」 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 泌尿器科医員 曲淵敏博

「切迫流産・妊娠悪阻」 川崎医科大学 産婦人科学1 主任教授 下屋浩一郎

「乾癬」 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 内分泌代謝・

リウマチ内科医長 西村啓佑

「薬剤性肝障害」 原三信病院 肝胆膵内科部長 古藤和浩

◆参加者数 165名

##### (2) 東京

開催日 2019年10月13日、14日

会場 一橋大学 一橋講堂

第1日 2019年10月13日(日)

「喫煙依存(ニコチン依存症)」 東京医科歯科大学医学部附属病院 呼吸器内科助教 立石知也

「関節リウマチ」 筑波大学医学医療系 膠原病・リウマチ・アレルギー内科学講師 近藤裕也

「便秘」 医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院 消化器内科 副院長 池澤和人

「熱傷」 筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学教授 井上貴昭

「末梢神経障害」 千葉大学医学部附属病院 脳神経内科准教授 三澤園子

「透析・腎不全」 東京通信病院 腎臓内科主任医長 高野秀樹

第2日 2019年10月14日(月・祝)

「過敏性腸症候群」 山王病院 消化器センター副部長 大久保政雄

「統合失調症」 東京医科歯科大学 医学部附属病院 精神科助教 田村赳紘

「肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症」 千葉県済生会習志野病院 副院長 田邊信宏

「更年期障害」 東京医科歯科大学 生殖機能協同学助教 平光史朗

「加齢黄斑変性」 千葉大学大学院医学研究院 眼科学准教授 馬場隆之

「アトピー性皮膚炎」 あたご皮膚科 副院長 江藤隆史

◆参加者数 125名

15. 関係団体への協力（本学会役員）

- 1) 一般社団法人薬剤師認定制度認証機構 理事：安原真人 特別会員：本学会
- 2) 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査制度への協力学会として登録  
統括責任者：奥田真弘
- 3) 2020年度厚生労働科学研究費補助金  
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業  
「薬剤師が担う医療機関と薬局間の連携手法の検討とアウトカムの評価研究」  
研究代表者：安原真人
- 4) 日本医療政策機構 AMR アライアンス・ジャパンに係る活動への協力 奥田真弘

〔2〕 組織運営の部

1. 2020-2021 年度 役員を選出

2019 年 10 月に投票を実施した役員候補者選挙において 12 名の理事候補者と 2 名の監事候補者が当選した。2020 年 4 月 26 日の第 12 回定時社員総会において推薦理事候補を加えた新役員 23 名（理事 20 名、監事 3 名）の選任決議を実施する。本決議の結果、新理事及び監事への選任が了承された際には、同総会の終結時から任期 2 年に亘って就任する。

2. 2021-2022 年度 代議員を選出

2020 年に 2021-2022 年代議員選挙の公示を行う。2021 年 3 月に開催予定の第 13 回定時社員総会までに代議員選挙を実施して当選者を決定する。本選挙の当選者は第 13 回定時社員総会の終結時から任期 2 年に亘って就任する。

## 事業報告附属明細書

(2019年1月1日～2019年12月31日)

### 1. 役員 (2018年3月25日第10回定時社員総会終了後から就任)

#### 会頭

奥田 真弘 大阪大学医学部附属病院

#### 副会頭

千堂 年昭 岡山大学病院

山田 安彦 東京薬科大学薬学部

山本 康次郎 群馬大学医学部附属病院

#### 理事

青山 隆夫 東京理科大学薬学部

出石 啓治 いずし薬局

井関 健 北海道大学大学院薬学研究院

伊藤 清美 武蔵野大学薬学部

大谷 壽一 慶應義塾大学薬学部

川上 純一 浜松医科大学医学部附属病院

河原 昌美 愛知学院大学薬学部

吉光寺 敏泰 MeijiSeika ファルマ株式会社

崔 吉道 金沢大学附属病院

佐藤 淳子 医薬品医療機器総合機構

武田 泰生 鹿児島大学病院

寺田 智祐 滋賀医科大学医学部附属病院

峯村 純子 昭和大学横浜市北部病院

宮崎 長一郎 有限会社宮崎薬局

望月 眞弓 慶應義塾大学

山田 清文 名古屋大学医学部附属病院

#### 監事

大森 栄

安原 眞人 帝京大学薬学部

山元 俊憲 公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団

### 2. 事務局 (2019年12月31日現在)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目12-15 日本薬学会長井記念館7階

事務局長1名、職員1名、契約職員2名

以上、敬称略



## 2019年度 決算報告(案)

自 2019年1月1日  
至 2019年12月31日

## 貸借対照表

2019年12月31日現在

一般社団法人日本医療薬学会  
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	243,073,057	220,504,234	22,568,823
未収金	7,286,861	9,356,308	△ 2,069,447
前払金	2,874,264	1,218,720	1,655,544
仮払金	760,447	263,887	496,560
流動資産合計	253,994,629	231,343,149	22,651,480
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
財政安定引当資産	200,000,000	200,000,000	-
特定資産合計	200,000,000	200,000,000	-
(3) その他固定資産			
器具備品	652,459	511,496	140,963
建物附属設備	4,533,848	4,641,158	△ 107,310
ソフトウェア	-	53,901	△ 53,901
電話加入権	74,984	74,984	-
差入敷金	8,018,910	8,018,910	-
その他固定資産合計	13,280,201	13,300,449	△ 20,248
固定資産合計	213,280,201	213,300,449	△ 20,248
資産合計	467,274,830	444,643,598	22,631,232
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	12,845,762	17,321,822	△ 4,476,060
預り金	908,585	854,985	53,600
前受金	60,263,500	56,066,800	4,196,700
流動負債合計	74,017,847	74,243,607	△ 225,760
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,588,000	885,000	703,000
固定負債合計	1,588,000	885,000	703,000
負債合計	75,605,847	75,128,607	477,240
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	-	-	-
2. 一般正味財産	391,668,983	369,514,991	22,153,992
正味財産合計	391,668,983	369,514,991	22,153,992
負債及び正味財産合計	467,274,830	444,643,598	22,631,232

# 正味財産増減計算書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 受取会費	119,748,500	118,775,500	973,000
2 正会員受取会費	118,854,500	117,887,500	967,000
3 学生会員受取会費	474,000	448,000	26,000
4 賛助会員受取会費	420,000	440,000	△ 20,000
5 事業収益	145,207,588	153,233,554	△ 8,025,966
6 受取参加料	119,902,520	130,972,050	△ 11,069,530
7 受取審査認定指定料	16,939,400	14,596,200	2,343,200
8 受取受託料	4,000,000	4,000,000	-
9 受取投稿掲載料	4,365,668	3,665,304	700,364
10 受取補助金等	1,330,000	600,000	730,000
11 受取民間補助金	-	100,000	△ 100,000
12 受取民間助成金	500,000	500,000	-
13 受取地方団体補助金	830,000	-	830,000
14 受取負担金	51,122,000	61,400,000	△ 10,278,000
15 受取負担金	51,122,000	61,400,000	△ 10,278,000
16 受取寄付金	7,700,000	11,000,000	△ 3,300,000
17 受取寄付金	7,700,000	11,000,000	△ 3,300,000
18 雑収益	8,104,626	9,232,056	△ 1,127,430
19 受取利息	13,966	19,679	△ 5,713
20 受取広告料	6,206,040	6,765,120	△ 559,080
21 雑収益	1,884,620	2,447,257	△ 562,637
22 経常収益計	333,212,714	354,241,110	△ 21,028,396
(2) 経常費用			
23 事業費	289,553,658	293,668,113	△ 4,114,455
24 給料手当	20,131,330	13,854,452	6,276,878
25 退職給付金	548,340	118,420	429,920
26 福利厚生費	102,171	80,969	21,202
27 法定福利費	3,211,400	2,110,191	1,101,209
28 会議費	12,827,164	13,189,562	△ 362,398
29 旅費交通費	37,519,349	30,023,377	7,495,972
30 通信運搬費	13,126,796	15,213,557	△ 2,086,761
31 消耗什器備品費	16,055,462	19,912,654	△ 3,857,192
32 消耗品費	887,484	4,038,893	△ 3,151,409
33 印刷製本費	41,074,857	36,400,094	4,674,763
34 図書購入費	-	75,320	△ 75,320
35 租税公課	5,152,600	4,906,200	246,400
36 減価償却費	323,329	387,601	△ 64,272
37 賃借料	70,787,565	71,572,387	△ 784,822
38 諸謝金	11,418,165	10,403,460	1,014,705
39 光熱水料費	534,348	486,368	47,980
40 渉外費	7,800	49,640	△ 41,840
41 委託費	44,585,915	58,668,803	△ 14,082,888
42 支払広告料	309,000	259,200	49,800
43 支払助成金	900,000	596,432	303,568
44 支払手数料	7,963,008	8,676,022	△ 713,014
45 雑費	2,087,575	2,644,511	△ 556,936
46 管理費	21,505,064	19,929,144	1,575,920
47 給料手当	5,678,067	4,279,648	1,398,419
48 退職給付金	154,660	36,580	118,080
49 福利厚生費	28,818	25,011	3,807
50 法定福利費	905,780	651,839	253,941
51 会議費	182,671	178,987	3,684
52 旅費交通費	3,847,000	3,644,268	202,732
53 通信運搬費	318,920	288,185	30,735
54 消耗什器備品費	523,130	257,097	266,033
55 消耗品費	133,914	114,414	19,500
56 印刷製本費	105,029	120,698	△ 15,669
57 租税公課	66,902	85,971	△ 19,069
58 減価償却費	89,607	131,971	△ 42,364
59 賃借料	3,482,075	3,785,699	△ 303,624
60 保険料	649,700	656,280	△ 6,580
61 光熱水料費	148,089	165,600	△ 17,511
62 渉外費	2,200	2,360	△ 160
63 他団体年会費	468,040	468,040	-
64 支払寄付金	50,000	50,000	-

	科 目	当年度	前年度	増減
65	委託費	3,277,468	2,674,109	603,359
66	支払手数料	1,265,679	2,138,011	△ 872,332
67	雑費	127,315	174,376	△ 47,061
68	経常費用計	311,058,722	313,597,257	△ 2,538,535
69	評価損益等調整前当期経常増減額	22,153,992	40,643,853	△ 18,489,861
70	当期経常増減額	22,153,992	40,643,853	△ 18,489,861
	2. 経常外増減の部			
71	当期一般正味財産増減額	22,153,992	40,643,853	△ 18,489,861
72	一般正味財産期首残高	369,514,991	328,871,138	40,643,853
73	一般正味財産期末残高	391,668,983	369,514,991	22,153,992
	II 指定正味財産増減の部			
	一般正味財産への振替額			-
	一般正味財産への振替額			-
	当期指定正味財産増減額			-
	指定正味財産期首残高			-
	指定正味財産期末残高		-	-
74	III 正味財産期末残高	391,668,983	369,514,991	22,153,992

# 財産目録

2019年12月31日現在

一般社団法人日本医療薬学会

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手元保管	運転資金として	61,019
	預金	普通預金		243,012,038
		みずほ銀行 渋谷中央支店		89,271,466
		みずほ銀行 渋谷中央支店		90,405,480
		みずほ銀行 渋谷中央支店		31,177,401
		ゆうちょ銀行 〇一九支店		22,370,338
		ゆうちょ銀行 〇一九支店		9,682,855
		住友銀行 渋谷駅前支店		52,519
		三菱UFJ銀行 渋谷支店		51,979
				7,286,861
	未収金			3,300
	論文投稿料			220,000
	論文掲載料			246,400
	医療薬学広告料			1,007,000
	正会員会費			5,733,269
	年会精算金			76,892
	その他			2,874,264
	前払金			1,231,104
	賃料・共益費			1,633,160
	会場費			10,000
その他		760,447		
仮払金		292,527		
学術第2		467,920		
学術第4				
<b>流動資産合計</b>				<b>253,994,629</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>特定資産</b>				
その他固定資産	財政安定引当資産			200,000,000
	みずほ銀行	渋谷中央支店		50,000,000
	三井住友銀行	渋谷駅前支店		100,000,000
	三菱UFJ銀行	渋谷支店		50,000,000
	器具備品			652,459
建物附属設備			4,533,848	
電話加入権			74,984	
差入敷金			8,018,910	
<b>固定資産合計</b>				<b>213,280,201</b>
<b>資産合計</b>				<b>467,274,832</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金			12,845,762
	給与・手当			6,828
	法定福利費			872,709
	租税公課			3,350,800
	通信運搬費			802,895
	旅費交通費			3,138,440
	雑費			7,788
	日病薬単位申請料			4,400
	海外研修助成金			600,000
	その他			4,061,902
	預り金			908,585
	健康保険			328,454
	厚生年金			524,752
	雇用保険			55,379
	前受金			60,263,500
	正会員会費			53,979,000
	学生会員会費			54,000
	賛助会員会費			340,000
	購読料			198,000
	集中教育講座参加費			5,676,000
その他			16,500	
<b>流動負債合計</b>				<b>74,017,847</b>
<b>(固定負債)</b>				
	退職給付引当金			1,588,000
<b>固定負債合計</b>				<b>1,588,000</b>
<b>負債合計</b>				<b>75,605,847</b>
<b>正味財産</b>				<b>391,668,985</b>

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

### (1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

ただし、公益認定前のため、正味財産増減計算書内訳表及び貸借対照表内訳表は作成しておらず、財産目録の表示に係る規定は適用していない。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

建物附属設備

定額法

什器備品

定率法

#### ② 無形固定資産

定額法

### (3) 引当金の計算基準

退職給付引当金

職員の退職金の支給に備えるため  
期末要支給額を計上している。

### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している

## 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	5,365,500	831,652	4,533,848
什器備品	3,102,734	2,450,275	652,459
合計	8,468,234	3,281,927	5,186,307

# 附属明細書

2019 年度

## 1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得価額
有形固定資産	器具備品	511,495	392,688	-	251,724	652,459	3,102,734
	建物附属設備	4,641,158	-	-	107,310	4,533,848	5,365,500
	計	5,152,653	392,688	-	359,034	5,186,307	8,468,234
無形固定資産	ソフトウェア	53,901	-	-	53,901	-	-
	電話加入権	74,984	-	-	-	74,984	74,984
	計	128,885	-	-	53,901	74,984	74,984

## 2. 引当金の明細

### 退職給付引当金

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	885,000	703,000	-	-	1,588,000



# 2019年度 監査報告

自 2019年1月1日  
至 2019年12月31日

2020年2月20日

## 監査報告書

一般社団法人日本医療薬学会  
会頭 奥田 真弘 殿

一般社団法人日本医療薬学会

監事 大森 栄



監事 安原 真人



監事 山元 俊憲



私たち監事は、当法人の2019年1月1日から2019年12月31日までの2019年度の業務及び財産の状況並びに理事の職務執行について監査を行いましたので、監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法

各監事は、理事会に出席し理事及び使用人等からその職務の執行について報告並びに説明を受けるとともに、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令又は定款に従い法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の遂行に関して、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示していると認めます。

## 2020-2021 年度 役員選任（案）

任 期 自 第 12 回定時社員総会の終結後  
至 第 14 回定時社員総会の終結時

一般社団法人日本医療薬学会  
2020-2021 年度 役員選任名簿 (案)

(五十音順)

<理事 (20名)>

選挙・推薦	氏名	所属	所属区分
選挙	石井 伊都子	千葉大学医学部附属病院	病院
推薦	石澤 啓介	徳島大学病院	病院
選挙	出石 啓治	いずし薬局	薬局
推薦	大谷 壽一	慶應義塾大学	大学
選挙	奥田 真弘	大阪大学医学部附属病院	病院
選挙	河原 昌美	愛知学院大学	大学
推薦	吉光寺 敏泰	MeijiSeika ファルマ株式会社	その他
選挙	崔 吉道	金沢大学附属病院	病院
選挙	齋藤 秀之	熊本大学病院	病院
推薦	斎藤 嘉朗	国立医薬品食品衛生研究所	その他
選挙	鹿村 恵明	有限会社 グッドファーマシー	薬局
推薦	武田 泰生	鹿児島大学病院	病院
選挙	田崎 嘉一	旭川医科大学病院	病院
選挙	寺田 智祐	滋賀医科大学医学部附属病院	病院
推薦	富岡 佳久	東北大学大学院	大学
推薦	村木 優一	京都薬科大学	大学
選挙	百瀬 泰行	国際医療福祉大学	大学
推薦	矢野 育子	神戸大学医学部附属病院	病院
選挙	山田 安彦	東京薬科大学	大学
選挙	山本 康次郎	群馬大学医学部附属病院	病院

注1) 理事候補者選挙当選理事候補：12名、 推薦理事候補8名  
所属区分別 病院：10名、 大学：6名、 保険薬局：2名、 その他：2名

<監事 (3名)>

選挙・推薦	氏名	所属
選挙	大森 栄	
選挙	佐々木 均	長崎大学病院
推薦	望月 眞弓	慶應義塾大学

注2) 監事候補者選挙当選理事候補：2名、 推薦監事候補：1名